

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国語基礎教養 National language basics culture		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(一般常識・公務員講座)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国語の表現力を高めたいと考えている人には「国語表現」の受講が望まれる。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
就職試験への対策を考えている人は複数の「基礎教養」科目の受講が望まれる。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大室 精一	大室研究室(福祉棟3階)	水の9時～16時(授業時間除く)		授業中に指示します
授業の概要				
①プリント学習(30分)頻出問題の解説→文学鑑賞(15分)有名な古典・近現代の整理→賛否両論での論述(15分) ②漢字クイズ・15分(プリント裏面に印刷した「難読語」「クロスワード」等、様々な漢字クイズに挑戦する。) ③ワンポイント国語常識・15分(社会人として必要になる国語常識を確認する。)				
授業の目標				
①プリントによる学習(漢字・ことわざ・慣用句・文法・文学史などの基本的事項の知識を養うことができるようにする。) ②ワンポイント国語常識(社会人として必要な国語常識を身に付けることができるようにする。) ③漢字練習(社会人として必要な常用漢字の読み書きの力を身に付けることができるようにする。)				
授業の方法				
この授業の方法は、以下の3項目となる。 ①講義と演習を組み合わせた形式となるが、他に各人の購入した問題集への個別指導も行う。 ②毎時間プリントによる学習であり、表面は問題集と国語常識、裏面は漢字クイズとなる。 ③プリントの最後に「本日の授業で考えたこと」を記入して学習内容のポイントを確認する。質問も同時に記入する。				
学習の成果(学習成果)				
就職試験に向けて国語教養の基礎力を身に付けることができる。又、社会人として必要な敬語表現・ビジネス敬語・常用漢字力を身に付けることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	講義ガイダンス(勉強の心構え・講義計画・プリント・課題・成績評価について) プリント学習(漢字練習)			
第2回目	プリント学習「漢字の読みかた」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識	
第3回目	プリント学習「読みにくい漢字」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識	
第4回目	プリント学習「漢字の書き取り」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識	
第5回目	プリント学習「正しい漢字を選ぼう」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識	
第6回目	プリント学習「部首・仮名づかいなど」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識	

第7回目	プリント学習「四字熟語・三字熟語」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識
第8回目	プリント学習「同音異義語・反対語」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識
第9回目	プリント学習「語句の意味と用法」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識
第10回目	プリント学習「ことわざ・慣用句」 課題「私の人生を変えた一冊の本」提出	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識
第11回目	プリント学習「名言・名句・名文」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識
第12回目	プリント学習「手紙文・葉書文」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識
第13回目	プリント学習「尊敬・謙譲・丁寧」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識
第14回目	プリント学習「和歌・俳句・季語」	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識
第15回目	プリント学習「文学史・文学賞」 全体のまとめ	文学鑑賞・賛否両論	漢字クイズ・ワンポイント国語常識

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	45%	毎時間プリントを配布し、授業後に回収して、授業への参加態度を記入状況により評価する。45点満点：毎時間のプリントを3点満点で評価(すべて記入なら優→3点、良→2点、可→1点)×15=15～45点
レポート	15%	「私の人生を変えた一冊の本」の課題の、表現力と自己分析の深さを記入状況により評価する。15点満点：課題の提出点が10点、レポートの完成度により1～5点を加える。
調査報告書		
小テスト		
試験	40%	大テーマによる論述問題(2問)で10点、授業全体から短答式の設問(15問)で30点の試験。40点満点：論述問題は記入してあれば5点、完成度により1～5点を加える。短答式は1問2点となる。
発表内容(態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

教科書：プリントによる授業のため教科書は使用しない。但し、最良の問題集を各自で一冊選び購入することが望ましい。
参考書・参考資料：授業担当者より適宜紹介するが購入の必要はない。

履修上の留意点・ルール

毎回授業でプリントを配布し回収して添削・評価を行うので、欠席した場合は「オフィスアワー」を利用して補講を受ける。